



とうまちょう

当麻町 採用案内

当麻町の概要

当麻町は、北海道中央部にあります。
山と河川に囲まれ、南西部から北にかけては山林地帯を形成、
自然の丘陵が起伏しながら大雪連峰に連なっています。
人口 5,878 人（2026 年 4 月末日現在）、面積は 204.90km²。
旭川都市圏の東の玄関口で、農業と林業がとっても盛んです。

当麻町へのアクセス

- ・ J R 旭川駅から当麻駅まで電車で 3 0 分（乗り換え不要）
- ・ 旭川市街から当麻町中心部までバスで 4 5 分（乗り換え不要）
- ・ 羽田空港から旭川空港まで 1 時間 3 0 分
- ・ 旭川空港から当麻町まで車で 3 0 分

役場組織機構（4 月 1 日時点）

町長部局	総務課（12 名）、まちづくり推進課（8 名）、 情報発信戦略課（6 名）、税務住民課（12 名）、 子育て支援課（6 名）、保健福祉課（21 名）、 農林業振興課（10 名）、建設水道課（14 名）、 会計課（3 名）、診療所（8 名）
教育委員会	学校教育課（12 名）、社会教育課（7 名）
議会事務局	（2 名）
農業委員会	（2 名）

特別職・一部再任用職員・会計年度任用職員を除く



役場庁舎 H30.2 完成（1 期工事）

主なイベント



蟠龍まつり（8月）

子供たちによる蟠龍太鼓の演奏で幕を開け、夜は迫力の龍おどりが披露されます（写真）。各種露店やステージイベントで盛り上がり、フィナーレは打ち上げ花火が飾ります。



当麻町生涯学習フェスティバル（11月）

会場全体に町民による絵画や写真、木工、手芸作品などが並ぶ文化の祭典です。歌やダンス、器楽演奏などのステージ発表のほか体験参加型プログラムも多数行われます。



キャンドルライトフェスティバル（2月）

町内の多業種の若手で構成される当麻町青年会議が主催の冬のイベントです。雪国ならではのタイヤチューブ滑りなどで遊べるほか、夜にはキャンドルライトが灯されます。

特産品



でんすけすいか

当麻町自慢のブランドすいかです。栽培管理が難しく、生産者の高い技術によってジャンボサイズの甘いすいかになります。ふるさと納税でも大人気です。



りゅうのいずみ

龍乃泉

北海道指定天然記念物「当麻鐘乳洞」の中で熟成させたお酒です。お酒を搬入搬出するボランティアのみなさんの温もりと熟成された味わいを感じることができます。

先輩職員からのメッセージ



社会教育課 社会教育係

一日のスケジュール

- 8:20 登庁
- 8:30 経理事務
- 10:00 イベントの企画書作成や
物品等準備
- 12:00 昼休み
- 13:00 係内打合せ
- 15:00 公民館利用者等の対応
- 17:15 業務終了
- 17:30 退庁

令和6年4月に入庁し、現在は社会教育課で、公民館等教育施設の管理や子どもから高齢者まで多世代を対象としたイベントの企画・運営などの仕事を担当しています。

仕事のやりがいは、町民が学びや活動を通してつながり、暮らしがより豊かになるきっかけをつくったり、町民の主体的な学びを支えたりすることです。また、幅広い年代と関わる中で、「参加してよかった」「楽しかった」といった声を直接いただけることも多く、行政の仕事の中でも成果や手応えを実感しやすいところも魅力の一つです。

教育や文化活動は、正解が一つではないので、「こんな企画はどうだろう」と企画を考えたり、さまざまな分野の方から助言をいただいたりしながら、日々、地域づくりに貢献できるよう努めています。

当麻町は人の温かさと元気のある町です。この町で、皆さんと共に働けることを楽しみにしています。



税務住民課 固定資産係

一日のスケジュール

- 8:25 登庁
- 8:30 業務開始
- 10:00 新築家屋の現地調査
- 12:00 昼休み
- 13:00 土地の現況確認
- 15:00 調査物報告
- 17:15 業務終了
- 17:20 退庁

平成 29 年に入庁し、気が付けば勤続 10 年目となりました。私は教育委員会・保健福祉課を経て、現在は税務住民課で固定資産に係る業務をしています。固定資産とは土地や建物などの不動産のことを主に指す言葉です。私の業務は土地の調査を行ったり、解体や新築された家屋を見に行ったりすることです。税金の業務なので緊張感をもって仕事をしています。

役場では数年ごとに部署異動があり、そのたびに全く新しい仕事をしている気分になりますし、様々な分野の知識が必要となります。不安になることもありますが、チーム当麻で手を取り合って業務を遂行しております。

入庁してから現在に至るまで、働き続けることができているのも、ひとえに当麻町役場の仲間たちのおかげです。これを見たあなたとも働けるのを心待ちにしております！！



総務課 防災係

一日のスケジュール

- 8:10 登庁
- 8:30 メール確認
- 9:30 伝票等支払業務
- 11:00 防犯・交通安全運動事務
- 12:00 昼休み
- 13:00 防災関係調査物処理
- 15:00 防災備蓄倉庫作業
- 16:30 翌日事務準備
- 17:15 業務終了
- 17:20 退庁

令和4年4月に入庁し、令和7年4月から総務課で防災関係や交通安全関係、防犯関係の業務を担当しています。実際に災害が起きた時の避難所設営のシュミレーションや情報伝達の訓練、交通事故や犯罪が起きないよう啓発運動等を行っています。

総務課に異動する前は、保健福祉課で仕事をしていました。初めての異動で、業務内容がガラッと変わるのでかなり不安でしたが、上司や先輩の方々のサポートがあり、なんとか仕事に慣れることができました。

異動があると不安も多いですが、新しい知識等を学ぶことができるので、やりがいを感じながら日々仕事をしています。

当麻町役場は雰囲気がよく、上司や先輩方に相談しやすく、とても働きやすい環境だと思います。

近い将来、皆さんと当麻町で一緒に働けることを楽しみにしております。

町長からのメッセージ

What is the vision of Tohma?

◎ 当麻町のたいせつな柱「3育」 ◎

食・木・花。当麻町には「3育」があります。

当麻町は「食育 木育 花育からつながる心育」をまちづくりの推進目標に掲げています。
豊かな自然からの恵みに感謝する心を育ててゆくことが当麻町の基本方針です。

Gratitude to all lives



いのちへの感謝

「食育」

小学4年生から中学2年生まで全員が毎年、田植えに参加し、米100俵を収穫しています。このお米は子ども達が1年を通じて食べる給食米。田んぼの生き物観察や稲の生育観察など、「お米」ができるまでの過程を一貫して学び、「作って、食べる」ことで食物への感謝の心を育みます。



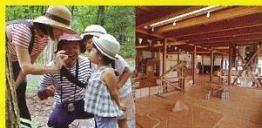
Protect and tell the contact



ふれあいを守り伝える

「木育」

当麻山をめぐる「くるみなの散歩道」は自然の樹木に直接触れられる「木育」の場。受け継がれた「守り育てる」林業は、日本が誇る木の文化。「くるみなの木遊館」では子どもの頃から「Made in とろま」の木を身近に感じることで、人と木や森との関わりを考えられる豊かな心を育んでゆきます。



To cultivate a peaceful mind



豊かなこころを養う

「花育」

「人が笑う場所」、「皆が来る場所」であってほしいという願いが込められた「くるみなの庭」。当麻町の花育は、可憐に咲く花から優しさや思いやりの心を育むこと。ここでは春夏秋冬を通じて100種類以上の季節の花が咲き誇ります。五感を刺激し育んでいくことが当麻の花育です。



「地方だからできない」ではなく、「地方だからこそできる」まちづくりへー。

人口減少や少子高齢化、価値観の多様化など、自治体を取り巻く環境は大きく変化しています。そんな時代だからこそ、地域の強みを生かし、未来へ挑戦し続ける「人の力」が重要だと考えます。

当麻町では、「食育・木育・花育」を軸に、農業・林業をはじめとする基幹産業の振興、子育て・教育環境の充実、カーボンニュートラルや官民連携の推進など、“当麻町らしいまちづくり”を進めています。

その原動力となるのが、当麻町役場職員一人ひとりの存在です。町民のみなさんに寄り添い、自ら考え行動し、新しいことへ挑戦していくー。そんな前向きな力が合わさり、持続可能で魅力ある地域の未来を創っていきます。

「チーム当麻町役場」みなさんと共に仕事ができることを楽しみにしています！



当麻町長 村椿 哲朗



当麻町役場

〒078-1393

北海道上川郡当麻町3条東2丁目11番1号

TEL 0166-84-2111

FAX 0166-84-4883



ホームページ



Facebook



YouTube



Instagram